

## Skinny Guy Campers

# 3DEXPERIENCE SOLIDWORKSで次世代の革新的なピックアップトラックキャンパー製品を開発

お客様の事例



Skinny Guy Campers社は、クラウドベースの**3DEXPERIENCE**プラットフォームに接続する**SOLIDWORKS** 3D CADソフトウェアを使用して、標準的なピックアップトラックの荷台に取り付け可能な、異色のキャンパー製品を開発しました。RVを牽引しなくてよいため、トラックが走れる場所であれば、どこでも自由にキャンプができるようになったのです。

## 課題:

革新的で現代的な次世代ピックアップトラック キャンパー製品を、迅速かつコスト効率よく開発する。

## ソリューション:

クラウドベースの**3DEXPERIENCE Works**プラットフォーム ソリューションを導入する。

## 結果:

- 現代的なピックアップトラック キャンパー製品を開発
- 新型コロナウイルス感染症のパンデミックに見舞われる中、クラウドで効率的に製品を設計
- 開発コスト、ハードウェア/サーバー コストを削減
- 将来の成長と発展を加速するためのクラウドベースの設計プラットフォームを構築

Skinny Guy Campers社の創設者でオーナー兼CEOでもあるJason Bontrager氏は、レクリエーション ビークル (RV) 業界の申し子のような存在です。同氏の祖父母に当たるLloydとBerthaは、1968年にインディアナ州ミドルベリーにある家族経営の農場にJayco, Inc. というメーカーを創設し、Jay Flight®という、トラベル トレーラーの世界トップ ブランドを手掛けました。Bontrager氏は製品開発責任者として同社で長年働き、設計ツールを2次元から3次元へと移行するときには、自ら先頭に立ちました。

2016年、Jayco社は複数の競合RVブランドを所有するThor Industries社に売却されます。その後もBontrager氏はしばらく製品開発部門で仕事を続けましたが、革新的なRVやキャンパーを設計したい気持ちを抑えられなくなりました。Jayco社が創業間もなくして成功したのは、トラベル トレーラーを持ち上げるポップアップ式の先進的なケーブルリフトを設計したからです。Bontrager氏の祖父Lloydが開発し、特許を取得しました。Bontrager氏には、熱源、温水、冷水、電源、調理台、トイレを備える現代のキャンピング システムを、標準的なピックアップトラック後部にすばやく簡単に設置するアイデアがありました。そのような製品があれば、RVを牽引する必要がなくなり、どこでも自由にキャンプできるようになると考えていたのです。キャンパー設計に対するこの革新的なアプローチが、Skinny Guy Campers社創設のきっかけとなりました。

Skinny Guy Campers社でエンジニアリング設計と技術文書作成の責任者を務めるRobert Miles氏(3世)は、Jayco社在籍中のBontrager氏が仕事を一緒にしていた人物です。次世代のキャンパー設計のアイデアを実現するため、Bontrager氏は彼を新しい会社に誘いました。2011年、Jayco社が設計ツールを2次元のAnvil Express®から3次元のAutodesk® Inventor®へと切り替えたとき、Bontrager氏はこの移行プロジェクトの先頭に立ち、Miles氏とともに新しいツールを使っていました。

しかし、Miles氏はSOLIDWORKS®の使用経験があり、その後の2012年に、Jaycoの子会社であるStarcraft社に異動します。Jayco社の業務責任者がInventorを選択し、2人ともInventorのトレーニングを受けていたにもかかわらず、Bontrager氏はサプライヤーとMiles氏の両方から、SOLIDWORKSを導入すべきという進言を聞かされていました。そのため、Skinny Guy Campersの設立や異色のピックアップトラック キャンパーの開発について話し始めた2人は、SOLIDWORKSを、Collaborative Designer for SOLIDWORKS経由でクラウドベースの**3DEXPERIENCE**®プラットフォームに接

続することにしました。こうして、Webブラウザを用いてどこからでも安全にSOLIDWORKSの設計データやデータ管理ツールにリモート アクセスできるようになり、チームの生産性とコラボレーションを向上させて開発ピッチを上げることができました。

「当社のようなスタートアップ企業が、独自のキャンパーのコンセプトを迅速に、かつコスト効率よく開発と商品化につなげるためには、アジャイルとリーン、両方の開発アプローチが必要でした」とBontrager氏は説明します。「当社の目標は、ブランド価値と認知度を最大限に高め、RVと言うよりはピックアップトラックのアクセサリとして製品を確立することです。SOLIDWORKS 3D CADを**3DEXPERIENCE**プラットフォームに接続して使用すれば、サーバー ハードウェアに多額の投資をしなくても、製品開発の目標達成に必要な力を手に入れることができます」



「製品開発のクラウド化を進めたのは、いずれ中西部だけでなく、他の拠点でも製品の製造や組み立てを行いたいと思っているからです。

**3DEXPERIENCE**プラットフォームを利用していれば、ハードウェアやソフトウェアを複数の拠点に導入しなくても、必要なときに必要な数のアプリを追加購入すれば済みます。ある意味、ピックアップトラックで行ける場所ならどこでもキャンプができるという、私たちの製品に通じるところがありますね。**3DEXPERIENCE SOLIDWORKS**があれば、ネットにアクセスできる場所ならどこでも製品の設計や製造ができるのですから」

— Jason Bontrager氏 (CEO)

## パンデミックを乗り越えて開発を効率化

2020年初頭に製品開発を開始した時点では、Bontrager氏もMiles氏も、新型コロナウイルス感染症のパンデミックが起こることなど夢にも思っていませんでした。クラウドベースの**3DEXPERIENCE**プラットフォームを導入していたおかげで、世界の大半が停滞している中でも開発を続行できたこともです。「そもそも当社がSOLIDWORKSソリューションを**3DEXPERIENCE**プラットフォームに接続しようと決めたのは、導入、インストール、管理が簡単だということが理由でした。スマートフォンにアプリをダウンロードするような気軽さで本格稼働を始められますし、場所を選ばずに仕事できるという柔軟性に、多額の先行投資を避けられるというメリットもありました」とMiles氏は指摘します。

「しかし、11月のまる1か月間、感染拡大によって在宅勤務せざるを得なくなったときに、**3DEXPERIENCE**プラットフォームはその真価を発揮してくれました。2021年の春には、6.5フィート(約2メートル)の標準的なトラック キャンパー モデルの最終的な試作に入る予定ですが、パンデミックのさなかにこのようなペースで開発を進められたのも、**3DEXPERIENCE**プラットフォームのおかげで仕事を止めずに済んだからです」

## 複雑な板金部品を使用してRVの設計を前進

ピックアップトラックの荷台に乗せて使用するというSkinny Guy Campers社の画期的な製品の開発に、**3DEXPERIENCE SOLIDWORKS**の高度な自動板金設計ツールは不可欠でした。

「**3DEXPERIENCE SOLIDWORKS**の板金ツールセットを使うと、平らな状態でも曲がった状態でも、複雑な板金形状を簡単に作成できる点がとても素晴らしいです」とMiles氏は話します。

「境界線の輪郭とソリッドを作成すれば、ソリッドを板金に変換できます。プラットフォームの板金ツールを使えば、実際に板金を曲げたりしなくても、面倒な仕事はコンピュータがやってくれます。同様に、850個から1,000個のリベット穴を並べる作業も、**SOLIDWORKS**の自動化機能を使えば等間隔にすばやく配置できます。手作業で時間をかけて穴を作成し、間隔調整して配置する必要もありません」

## クラウドベースのリーンアプローチが今後の成長の礎

Skinny Guy Campers社は、クラウドベースの**3DEXPERIENCE SOLIDWORKS**ソリューションを使用することで、初期の研究開発に必要な柔軟性、俊敏性、コスト管理を実現することができましたが、このプラットフォームは、将来の成長や事業展開を支えるための製品開発の基盤としても活用できます。

「**3DEXPERIENCE SOLIDWORKS**のすべての設計機能を利用できるというのは、この上なく魅力的な話です」とBontrager氏は強調します。

「このソリューションのおかげで、製品を開発し、成長に合わせて規模を拡張し、新しい場所で事業を展開できます。製品開発のクラウド化を進めたのは、いずれ中西部だけでなく、他の拠点でも製品の製造や組み立てを行いたいと思っているからです。**3DEXPERIENCE**プラットフォームを利用してれば、ハードウェアやソフトウェアを複数の拠点に導入しなくても、必要なときに必要な数のアプリを追加購入すれば済みます。ある意味、ピックアップトラックで行ける場所ならどこでもキャンプができるという、私たちの製品に通じるところがありますね。**3DEXPERIENCE SOLIDWORKS**があれば、ネットにアクセスできる場所ならどこでも製品の設計や製造ができるのですから」

## Skinny Guy Campers社について

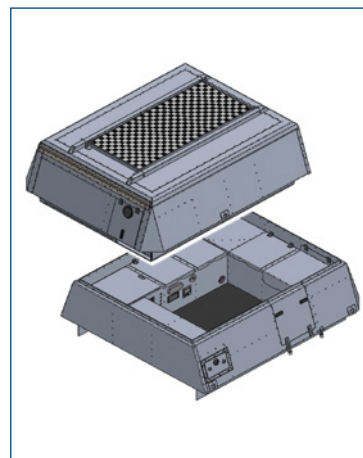
認定販売代理店 (VAR) : Computer Aided Technology (CATI), Indianapolis, IN, USA

本社: 19974 County Road 6  
Bristol, IN 46507  
USA

メール: [jason@skinnyguycampers.com](mailto:jason@skinnyguycampers.com)

## 詳細情報:

[www.skinnyguycampers.com](http://www.skinnyguycampers.com)



ピックアップトラックの荷台に乗せて使用するというSkinny Guy Campers社の画期的な製品の開発に、**3DEXPERIENCE SOLIDWORKS**の高度な自動板金設計ツールは不可欠でした。

ダッソー・システムズの**3D**エクスペリエンス・プラットフォームでは、**11**の業界を対象に各ブランド製品を強力に統合し、各業界で必要とされるさまざまなインダストリー・ソリューション・エクスペリエンスを提供しています。

ダッソー・システムズは、**3D**エクスペリエンス企業として、人々の進歩を促す役割を担います。当社は持続可能なイノベーションの実現に向けて、企業や人々が利用する**3D**のバーチャル コラボレーション環境を提供しています。当社のお客様は、**3D**エクスペリエンス・プラットフォームとアプリケーションを使って現実世界の「バーチャル エクスペリエンス ツイン」を生み出し、さらなるイノベーション、学び、生産活動を追求しています。

ダッソー・システムズの約2万人の従業員は、140カ国以上、あらゆる規模、業種の27万社以上のお客様に価値を提供します。より詳細な情報は、[www.3ds.com](http://www.3ds.com) (英語)、[www.3ds.com/ja](http://www.3ds.com/ja) (日本語) をご参照ください。

